

## ゾーン30設置の検討について

氷室第一町会長 滝澤 安俊  
氷室第二町会長 上田 信好

## 1. はじめに

市道梓川348号線（通称岩岡旧道）は小学校の通学路ですが登校時間が通勤時間と重なり非常に危険です。PTA、安協などから市・警察に安全対策の要望を出していますが実現していません。小学生だけでなく、すべての歩行者・自転車利用者も危険な状況です。

市民タイムスの中央橋付近の抜け道問題の報道（2023/8/8）をきっかけに松本市と情報交換する中で、対策を実現するためには地域が強く要望する必要があると感じました。

## 2. 対策の検討

関係者で各種安全対策の利害得失を検討した結果、ゾーン30が最適と判断しました。

番号	対策	メリット	デメリット
1	グリーンベルト設置	・歩行者の通行場所の安全が確保される	・道路が狭いので設置が困難
2	通学時間帯進入禁止	・最も効果あり	・沿線住民が通行許可証を取得、更新（3年）が必要 ・通学時間以外は効果がない
3	道路標識の充実	・実施が容易	・効果が期待できない
4	ゾーン30	・ハンプ・狭さく等で車両の速度を落とし安全を確保できる ・表示により一定の安全が期待できる ・より広域の安全が期待できる	・車両がハンプ通行時の騒音が発生

\*松本市が岩岡旧道にグリーンベルトの設置を検討しています。

現在ゾーン30設置の要望書提出に向けて検討しています。

検討メンバー 岩岡町会、横沢第一町会、南大妻第二町会、氷室第一・第二町会  
地域づくりセンター、安協梓川支部、土屋市議会議員

協力メンバー 梓川小学校・梓川中学校・PTA・民生児童委員・まちづくり協議会

ゾーン30エリアの案を裏面に示します。

## 3. 今後の進め方

～1月 警察・松本市・地域で協議しゾーン30要望案を作成

3月 総会でゾーン30要望案の同意を得る

4月 松本警察署長に要望案を提出

総会でゾーン30の要望案につき提案したいと思います。

エリアに含まれるのは第一町会の一部ですが、エリアを通行される方が多いと思いますので第一・第二町会の皆様の同意をいただく予定です。

ゾーン30要望案検討の参考にしますので、ご意見等ありましたら滝澤までご連絡ください。  
(080 4152 2397)

よろしく申し上げます。

## ゾーン30 設置エリア (案)

赤線 ゾーン30エリア 黄線 岩岡旧道



ゾーン30とは

生活道路における歩行者の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて最高速度 30km/h の速度制限を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度の抑制や抜け道として通行する車両の抑制等を図る生活道路対策

警察庁交通局交通規制課資料より

【参考】梓川小学校周辺にゾーン30があります。